

児童がシイタケの植菌作業を体験

下関市立吉見小学校の児童がシイタケの植菌作業を体験

分類：新着ニュース, 林業

登録日：平成 29 年 2 月 20 日 | 下関農林事務所森林部

平成 29 年 2 月 16 日(木曜日)、下関市立吉見小学校 6 年生 34 名が下関市林業研究会(会長：竹村勝)の指導の下、シイタケの植菌作業を体験しました。

これは、次代の担い手となる子どもたちを対象に、森林の大切さやそれを支える林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうために実施しました。

当日は、竹村会長による森林やシイタケの話の後、男女 2 班に分かれクヌギの原木に電気ドリルを使って、穴をあけ、金槌でシイタケ種駒の打ち込みを行いました。

体験した児童は 6 年生ということもあり、作業の内容をすぐに理解して約 40 分間に 40 本の原木に植菌しました。

児童は、3 月に卒業するため、今回植菌した楢(ほだ)木からシイタケの収穫はできませんが、「初めての体験ができて良かった」、「楽しかった」などの感想を話していました。



ドリルで穴あけ



記念撮影

問合せ先

メール：a171074@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1182